



発行日 2006年12月31日 第22号

発行 札幌歯科医師会口腔医療センター

〒064-0807札幌市中央区南7条西10丁目

TEL(011)512-9497 FAX(011)511-2272

<http://www.dnet.or.jp/center>

E-mail omc-s@dnet.or.jp

発行人 菊田 浩一 発行責任者 藤田 一雄

介護予防新時代における「口腔機能向上」の役割

本年度第1回所員・担当医研修会開催される

口腔医療センター企画研修部 魚津修司

去る10月4日日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授植田耕一郎先生が『介護予防新時代における「口腔機能の向上支援」の役割』と題して札歯会館大講堂にて講演して下さいました。今回は札幌市と北海道の後援をいただき、公開講座のかたちで開催しました。

センター所員15名、担当医7名、会員歯科医師38名、歯科衛生士38名、介護予防センター勤務者16名、地域包括支援センター勤務者13名、看護師3名、保健師1名、行政4名、在宅福祉サービス協会勤務1名、介護支援施設勤務2名、合計138名が聴講されました。

平成18年度施行の改正介護保険には、介護予防対象者のための「新予防給付」と健康高齢者のための健康維持・増進の「支援事業」というものが始まり、これによって介護状態になることを予防し、もしなってしまった場合にも自立するための支援を積極的にしていくという制度が生まれました。

しかも、それらの内容の中に「口腔機能の向上支援」という項目が盛り込まれ、高齢者・要介護者のADLの向上・自己実現のためには、口から元気よく食べることが重要である、ということが初めて公に認められたと言えます。

先生はまず介護予防を普及させるために基本検診（歯科が行うものとしては基本チェックリスト・問診・体重・身長・RSST・口腔衛生状態評価）の実施と地域包括支援センターとの連携について述べられ、DH・STの育成とその活躍の場を歯科医師が積極的に与えることが大切であると強調されました。



植田耕一郎先生



要介護者の直接的死因の第一位は今だに肺炎と感染症であり、口腔内のバイオフィルム・舌苔・口蓋の汚れを誤嚥して上気道感染から誤嚥性肺炎を発症するわけで、要介護者はもちろん介護予防対象者も口腔内の衛生には留意しないといけませんし、同時に「口から元気よく食べる」ことを実現し維持していくためには摂食嚥下訓練というものを欠かすことができません。

先生はこの「口腔機能面の向上支援」を特に強調され、2時間半に及ぶ大熱演が拍手・喝采のうちに終わりました。講演後も先生のもとへは質問者がぞろぞろと後をたたず、この問題に対する歯科医療従事者・行政担当者の関心の高さが知られました。

植田先生御多忙の中、遠路はるばるたいへんありがとうございました。



学会参加、仙台市福祉プラザ歯科治療見学報告

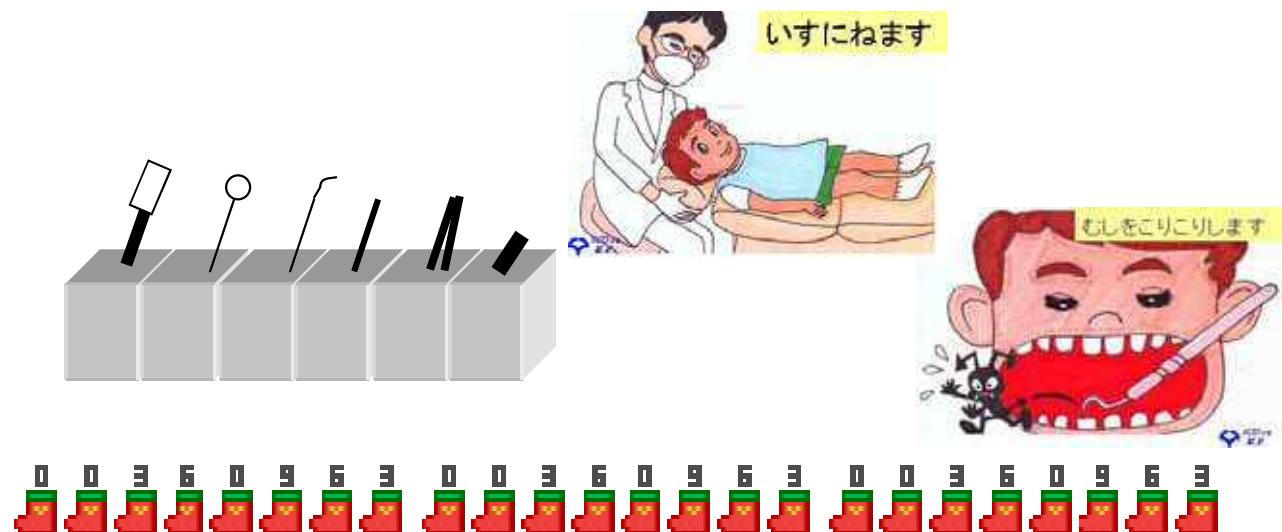
札幌歯科医師会口腔医療センター障がい者診療部長
牧野 秀樹

こんにちは、平成18年4月から障がい者診療部長を拝命いたしました。センターでの治療担当は10年目となりました。しばらく摂食・嚥下リハビリテーションを担当しておりました。特徴のある人相ですので、どこかで見覚えがある顔だと思います。髪の毛が長かった頃(頭頂部を除いて...)眼鏡をはずして怒ると小笠原選手(日本ハムファイターズ、日本一万歳!アジアNo1万歳!)に似ていると家族から言われていました。

10月20日(金)・21日(土)第23回日本障害者歯科学会が仙台市で開催され、所長・所員とともに参加いたしました。(今号のぱるす最終ページ写真は、ちゃんと学会に出席した様子を写したものです)

学会では自閉症・てんかん等の疾病や症例について、摂食・嚥下機能障害、自立支援法、高齢者、各地域での取り組み等、幅広い講演・発表が多数あり、たいへん参考になりました。

自閉症の方への視覚支援のアイデアをいくつかご紹介いたします。すでに、教育・療育現場で応用されている方も多いかと思いますが、絵・写真と併せて、牛乳パックを工作した幾つかの箱(ジグ)に治療道具を入れ、スムーズに治療を受けている例。好きな色を付けた足型を治療椅子のすぐそばに貼り、スムーズに診療室に入り治療椅子に座る例。



仙台市福祉プラザでの障害者歯科診療も見学させていただきました。新しく広くきれいな診療室で、工夫して設計されていました。

当センター障がい者診療部も開設から24年、摂食・嚥下リハビリテーション外来は8年が過ぎました。歯科の分野でも材料・機械器具・治療法が進歩し、障がいをお持ちの方をとりまく社会も変化しました。施設での歯磨き・口腔ケアに対する意識も、一昔前とは隔世の感があることを実感しております。

診療に携わる担当医および歯科衛生士は様々な方法で研鑽を積み、安心して治療を受けていただけるように日頃から体制を整えております。治療を受けられる方やご家族、あるいは教諭・施設職員の方々からいただきましたご意見を大切に受け止めて、治療等に生かしていきたいと思います。些細なことでも結構ですので、御意見をお寄せください。どうぞよろしくお願ひいたします。

歯の豆知識

なぜ歯医者さんはいつも歯ブラシ、歯ブラシと言うのだろう？

皆さんはこんな疑問はありませんか。

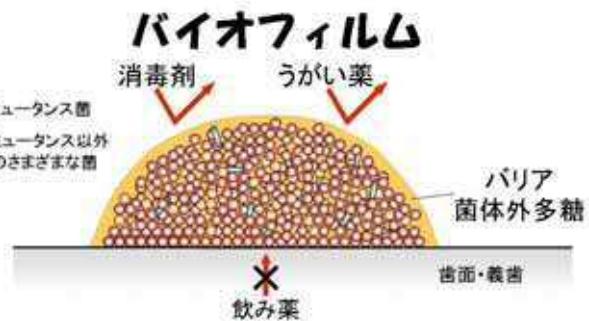
「消毒薬だけで口腔ケアはできないの？」「むし歯や歯周病にならぬがい薬はあるの？」「むし歯や歯周病が感染症なら、よく効く薬があるんじゃないの？」

むし歯、歯周病の原因はミュータンス菌などの細菌感染です。口腔内の温度は体温よりやや高めの37℃前後でほぼ一定、湿度や栄養も十分です。つまりお口の中には、細菌が繁殖しやすい条件がそろっているのです。この細菌のかたまりは口の中では「歯くそ」「歯垢」「デンタルプラーク」「バイオフィルム」と呼ばれています。

すると、むし歯、歯周炎を防ぐには、この細菌を退治すればよいはずです。

バイオフィルムとは複数の種類の細菌が共存して複合体を作り、固体表面に付着した状態の総称です。バイオフィルムは口腔内に限らず、自然界のいたるところで見かけます。川底の石の表面のヌルヌル、台所の三角コーナーも掃除を少しサボると周囲がヌルヌルになりますが、これもバイオフィルムです。その他、コンタクトレンズや経管栄養チューブにも付着します。このヌルヌルはミュータンス菌の出す菌体外多糖で、バリアのように消毒薬やうがい薬を撥ね返してしまいます。まして、歯や入れ歯の表面から飲み薬が移行することもありません。すると、バイオフィルムを取るために、やっぱり、歯ブラシでごしごしこそすらないといけません。

このお口の中のバイオフィルムが剥がれて肺に吸い込まれてしまうことが誤嚥性肺炎の原因になります。誤嚥性肺炎は体力の衰えた高齢者にとって恐ろしい病気です。また歯周病は心臓病、動脈硬化、骨粗鬆症など全身のいろいろな病気と深い関係があることがわかつてきました。お口の汚れ(バイオフィルム)を除くことはむし歯、歯周炎だけでなくさまざまな全身の病気を予防し、からだを健康に保つ上でとても大きな効果があります。



- ・菌体外多糖に取り囲まれて、消毒剤・抗菌剤が浸透しない。
- ・歯や義歯側から血行移行することができない。
- ・バイオフィルムが成熟するに従って除去も困難となる。
→ごしごしこそすないと除去できない



口腔医療センター 新人紹介

☆5月から障がい者診療部で働くことになりました佐藤 菜美です。

以前は町の一般歯科で働いていましたが、縁あって障がい者診療部の一員として働くことになりました。

私自身、患者さん本人のお口の中を良くすることはもちろんですが、保護者の方、施設の方と力を合わせて、より良い口腔内で食事をして頂けるようお手伝いしていきたいと思っています。

そして、これから患者さんと関わるなかで、やさしい気持ちを大切にしながら、少しでも顔を覚えて頂けるよう心がけたいと思います。

経験の浅い私ですが、精一杯努力して参りますのでよろしくお願ひ致します。



☆10月より障がい者診療部にて勤務することとなりました松山です。

今まで、同じ口腔医療センターの中にある夜間救急診療部で勤務しておりました。

同じセンターの中でも、夜間救急診療部と障がい者診療部、全く違う環境ではありますが、持ち前の明るさと元気で患者さんと日々楽しく診療しています。

早いもので、歯科衛生士として働き出し約15年になります。夜間救急診療部では、痛みの強い患者さんだけではなく、外傷などの出血の多い患者さんや、時に診療中に倒れてしまわれる患者さんなどもおられます。

この4年の勤務で、いかなる時も冷静である事、迅速に判断し行動する事を学びました。そして、以前勤務していた病院歯科では、様々な病気の患者さんの治療をする機会も与えられ、口の中だけではなく、からだ全体を見る目を養う事の大切さを学びました。

今、障がい者診療部に配属になり、今までの経験が決して無駄ではなかった事を実感しています。

今までの経験を活かしながら、より皆さんに安心して来所して頂けるように頑張っていこうと思っておりますので宜しくお願ひ致します！



救急診療部からのお知らせ

夜間の歯の痛みなど、救急処置を目的としています。継続的な治療は受けられませんのでご注意下さい。

診療のご案内

診療時間：19:00～23:00

受付開始時刻：18:30

年中無休

電話番号：(011)511-7774

障がい者診療部からのお知らせ

障がい者診療部は完全予約制になっております。

診療のご案内

予約時間：火～金 9:15～17:15

診療時間：月 14:00～17:00

火～土 9:30～17:00

金 9:00～17:00

(午前中は全身麻酔下診療)

電話番号：(011)512-9497

仙台市で行われた
第23回日本障害者歯科学会会場入り口にて



仙台市福祉プラザでの
障害者歯科診療所を見学



編集後記

子供の頃、今頃になるとウキウキしたものです。なんたって冬休みで学校なし。クリスマスでプレゼントをもらったあと、すぐ1週間後にお年玉、御馳走を食べて夜更かしもOK！今ではプレゼントもお年玉もあげるほうに(アタリマエ！)なってしましたが、ハッピーな気分だけは今でも戻ってきます。

編集長 中澤 潤